



JAPAN COAST GUARD **Mobile Cooperation Team**

フィリピン沿岸警備隊(PCG)に対する能力向上支援 (活動概要)

- 1 日程
令和8年7月18日(土)～8月1日(土)
- 2 場所
フィリピン(マニラ)
- 3 派遣職員
海上保安庁 MCT (Mobile Cooperation Team) 3名
- 4 研修参加者
 - (1) フィリピン沿岸警備隊(PCG) えい航訓練指導要員9名
 - (2) フィリピン沿岸警備隊(PCG) ダメージコントロール(防火・防水)訓練指導要員8名
- 5 活動概要

PCGのMRRV(多目的船: Multi-Role Response Vessel)の追加導入(ODA: 政府開発援助)にかかる支援継続の重要性を受け、同船の運用及び海上法執行等能力向上支援として、昨年6月から新たに日本国際協力機構(JICA)における「PCG 海上保安能力向上技術協力プロジェクト」が開始されました。

MCTは同枠組みを通じて、PCG職員の訓練指導要員に対するPCG所属船のえい航、船舶火災及び浸水に対するダメージコントロールの能力向上支援を実施しました。

また、PCG ダメージコントロール訓練指導要員に対しては、遠洋航海で寄港した当庁練習船「いつくしま」乗船中のJICA研修員(比・尼・馬・越)及び海上保安庁実習生と合同でダメージコントロールの一環として搬送訓練を行うことにより、能力向上のみならず、各国海上保安関連機関間の人的ネットワークの構築を図りました。

その他、USCG MTT (Mobile Training Team) と能力向上支援にかかる意見交換を行いました。

海上保安庁では、引き続き「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していくとともに、インド太平洋沿岸国への能力向上支援を推進してまいります。



えい航訓練の様子



ダメージコントロール（火災想定訓練）



USCG MTT との意見交換



PCG、いつくしま実習生及び JICA 研修員による合同訓練